

かるために普通郵便で送金するものや大会時払込などが一般的となり、そのため口座を利用する者が殆どなくなつたため現金は一般会計に算込んで廃止することに決められた。

一、次期事務局の件 総会までに確定されず、東洋大学が有力候補として終始あげられたが、東洋大学側の都合によつて決定をみず委員会に決定を附託された。

二、次期大会開催地の件 従来通りの隔年地

方開催と、前年度の鳴子の合宿大会の好評だつたこととの理由により、後藤、神谷両会員の好意によつて、愛知県で合宿方式により開催されるよう実現を計らう旨発言があり全員の賛同を得た。なおこのための連絡窓口は愛知学芸大後藤和夫宛にきめられた。

一、次期大会の課題の件 これについて本年度の課題の継続が一般の賛同をえ、それに附帯してさらに若干の限定を加えること、年報を一ヶ月ほど早く刊行されることにしてこれを大会のテキストにすることが提案された。

一、研究通信に関する件 年四回の発行をさらに強力に推進するため会員の自発的な寄稿を促して原稿の集まりをよくすること、これに附帯して各地区の活動を全国的に発進するため、連絡機関としてのブロソク毎の窓口（左記）の再確認とこの利用をする設けられること、年間会費わずか三〇〇円の送金のための送金費がその二割ほどもか

東北地区 仙台 竹内 利美  
東京地区 東京 福武 直  
中部地区 愛知 川越 淳二  
関西地区 大阪 中島龍太郎  
西部地区 福岡 内藤 荘蔵  
(前事務局田野崎記)

# 会計報告

自三三・一〇・一  
至三四・九・三〇

## 収入の部

前年度繰越会費 一一一五八円

内訳

三年分 一名 二〇〇一

(不足 一〇〇)

三年分 五名 一五〇〇一

三年分七〇名 一〇〇〇一

四年分一〇名 二九〇〦一

(不足 二〇〇)

三六七五八円

## 支出の部

### 研究通信印刷費

内訳 三〇号 九七〇〇円

三一号 四〇〦〇一

三二号 二八〇〇一

### 研究通信郵送費

内訳 三〇号 四六四〇円

三一号 一六〇〇一

三二号 一六〇〇一

### 大会討論原稿

同 謝金 紙代

通信費 一〇〇〇円

筆墨備品費 一〇七〇円

雜費 二三九四円

次年度繰越 一二一九円

計 三六七五八円

(責任者田野崎)